

※ 大島八重子のパフォーマンス ※

3月5日(木) AM 10:30～ ひな祭り と イレブンス (紅茶の集い)
3,000円 食事代含 琴演奏 三輪知之氏

4月2日(木) AM 10:30～ イレブンス (紅茶の集い) 1,500円

5月7日(木) AM 10:30～ イレブンス (紅茶の集い) 1,500円

6月1日(月) AM 10:30～ 大島八重子 ぼやきコンサートinまのや
5,000円 食事代含

並ぶ遺影

もしかしたら、この夫婦は同時に息を引き取るのかもしれない...

そして並んで遺影の人になるのかもしれない。

いつも一緒の二人に対し神は特別のはからいをするのかもしれない。

不思議な終焉ではあるけれど、もしそうになったら素晴らしい...。

無きにしも非ず、充分にその想いに運ぶ夫婦である。二人を眺めてつくづく思う。

二人の連携は理屈を超え、どこまでも自然体で不快な雰囲気など微塵もない。

どうぞ、どこまでもお手をつないで、そのまま進んでください。

年賀状

1月元旦に届く年賀状はいい...。送った人の声が聞こえる。

滅多に逢わないけれどその姿がみれる。一枚ずつ眺めて楽しむ時間である。

2日目、3日目と届く量は少なくなるけれど、毎日郵便受けを開ける期待感がいい。

10日目くらいになると殆ど届かなくなるけれど、この10日間は私を特別な気持ちにさせてくれる。

上手な筆跡でも、そうでなくても... 文章の上手なもの、そうでないもの...

活字の多いもの、少ないもの...

それらは自筆のものであると、宝物をもらった様な気分になる。

年賀状に限らずこの心境に入りたければ、こちらから手を打った方がよかろう。

もちろん自分からこまめにハガキを書く、その折には義理の返事は期待してはいけない。

あくまでも、その心に入った時の返事がいいけれど...。

寒中

大好きな正月は遠くに去っていった...
陽射しが春へと進む 取り立てて動かなくていい
思いのまま時を流せばいい

ストーブを前にして その静寂な空間を私は楽しむ
ラジオから流れる音楽をバックに新聞を広げる。本をめくる。
至福の時間を大切にしたい。

思えば亡き母の実家は山間にあった。
大きな囲炉裏端があった。常に薪の燃えている囲炉裏であった。
煙が柱、鴨居を栗茶色に輝かせる。

その建具と白い障子がどこまでも落ち着かせてくれる。
寡黙な祖父はいつも主座に座って茶も嗜んでいた。
祖父の座らない主座は格好がつかない。まるで鼻を取った顔のようで
その空間での祖父の存在は必須条件であった。

家族の団欒、食事の風景が想いおこされる。
威厳があり、動じない ただ座す祖父をしのび...
ガスストーブの前に座る私である

福寿草

とても小さく可愛く優しく
控え目そしてちょっとばかり
気ぐらいが高く
日本の自然に似合う花です。
美しい日本を失いたくなければ。
私達はこの世界の花々を
咲かせる事に力を込めたいものです。



ノノハナシッブン
お客様は猫である

発行所 『野の花』
ところ 一宮市西島町
2-52-2
☎ 0586-72-3733
FAX 0586-72-1333
発行人 大島八重子



終わりよければ、

我が家屋は築45年を経過した。過去10年間隔で外装を整えた。

その時期がやってきた。人生80歳で終わる予定で生きてきたけれど、

今の現状からすると5年は持ちそうな我が命の予想ができる。

長生きもいいけれど、余分な心配も並行する。

予定しなかった外装を決めた。

予定外の経費をつぎ込むには大きな戸惑いを感じるけれど

その時点で我が心は前向きに整った。美しい環境に住めば行動も思考も

大きく躍進すると私は信じる。

やがて終わる我が人生、終わりよければすべてよし、

バラ色の人生へ進んでみたい。

トラでございます



私にだって選ぶ権利があります。
『おまえ、それでも猫か？』と主人は申しますけれど。
美味しそうな焼き魚のニオイが大好きな私です。
主人は夕食にサンマを焼いております。
残念ながら私の分は無さそうです。
焼けたサンマを主人は満足そうに食べております。
足もとで私も請求しますが、ほんの少しの身だけで頭と骨の部分をくれますけれど..

昔の猫は、この頭を骨を喜んで食べたようですが今は時代が違います。
私は身の部分が大好きなのです。
骨は歯ぐきに刺さって苦勞したことがあります。
頭なんて、気持ちが悪くてほとんど味がありません。
お世話になってる身で、贅沢を申しましてすみません。

男はつらいよ

スクリーンの下をネズミがかけっこする。
タバコの臭いがしみた汚れたカーテン。
ジュースの空き缶が音をたてて転がっていく。
トイレの臭いの交る空気が漂う。
1/3くらいバラバラ埋まる客席。
昭和45年頃の私が楽しんだ一宮の映画館である。
時は流れて現代のシアター
ゆったりとしたシートに禁煙の客席は清々しい空気が流れる。
音響も画質もいい。
快適ではあるけれど何か物足りない...
この映画(男はつらいよ)に限り、先述の臭い映画館の方が
雰囲気盛り上がる。

